

シンプルメン (1992)

SIMPLE MEN

メディア 映画
ジャンル コメディ ドラマ ロマンズ
製作国 アメリカ/イギリス/イタリア
色彩 Color
時間 106分
初公開日 1992/12/12
公開情報 フランス映画社
リバイバル 2014/01/18 [JVD]

【キャッチコピー】

冒険とロマンス トラブルとデザイア 一匹狼気どりの兄と純情な弟 父探しの旅に出た兄弟の シンプルなく愛の発見

【解説】

大リーグ屈指の名遊撃手と謳われ、'68年の国防省爆破犯として失踪していた父を持つ兄弟が主人公。兄ビル（二代目ロボコップとなるR・バーク）は愛人と親友とのトリオで見事コンピュータ強盗に成功したものの、愛人は親友に寝返って逃げていく。23年ぶりの父の逮捕を書き立てる新聞。弟デニス（W・セイジ）は生真面目な哲学科の学生。父と会ったことのない彼はビルと共に面会に駆けつけるが、既に父は脱走した後。母から教えられた、父の愛人のものでらしいロングアイランドの電話番号もつながらない。そして二人は父探しの旅に。そして、癲癇の発作で倒れた所を救ったことから、ルーマニア出身のエリナ（E・レーヴェンソン）と、その友人のバー兼ホテルの女主人ケイト（K・サイラス）と知りあう。ケイトは入獄中で出所が近い夫とは離婚したブロンド美人で、ビルにはおあつらえ向きの女のはずが……。彼女の店を根城に父探しを続ける二人に、彼女の元夫ジャックの親友マーティン（M・ドノヴァン）が助け舟。判明した住所にビルとケイトが出向くと、目当ての家は全焼していた。一方、デニスはエリナが父の恋人だと知るが、彼女も父の行方を知らない。そして、一夜のヤケ酒パーティ（いいシーンだ）でマドンナの話などに熱くなる四人。翌朝早く出て行ったエリナに、父の呼び出しがあったと直感するデニスは、愛人だとばかり思っていた電話番号の名“タラ”がマーティンの船の名だと知り、港へ急ぐが……。父と子、男と女の理想と現実のギャップをクールかつロマンティックに捉えた、これは得難い現代のメルヘンである。音楽の使い方も絶妙。有り得ないような奇妙な人間の純な物語を、簡素な表現で親しみを感じられるものにする、そのスタイルに魅了される。

【クレジット】

監督	ハル・ハートリー	Hal Hartley
製作	テッド・ホープ	Ted Hope
	ハル・ハートリー	Hal Hartley
製作総指揮	ジェローム・ブラウNSTEIN	Jerome Brownstein
	ブルース・ウェイス	Bruce Weiss
脚本	ハル・ハートリー	Hal Hartley
撮影	マイケル・スピラー	Michael Spiller
音楽	ネッド・ライフル	Ned Rifle
出演	ロバート・バーク	Robert Burke
	ウィリアム・セイジ	William Sage
	カレン・サイラス	Karen Sillas
	エリナ・レーヴェンソン	Elina Lowensohn

マーティン・ドノヴァン

Martin Donovan

ジョン・アレクサンダー・マッケイ

メアリー・マッケンジー

ジェームズ・ハンセン・プライス